

たきおっ子

～一人一人が輝き、「笑顔」あふれる滝尾小～

御船町立滝尾小学校 学校だより
第19号 平成30年9月14日(金)
たきおっ子の生活信条：
「たのしく、きたえて、おおらかに」
学級数7、在籍児童数：60名
文責：(校長) 河地浩太郎

確かな学力向上をめざして～全国学力・学習状況調査結果～



本年4月に6年生が行いました、全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。本校の各問題における平均正答率の全国比と県比は、右表の通りになりました。国語A・B、算数Aは、全国及び県平均より上回りましたが、算数Bが下回りました。算数Bは基礎・基本を活用しての応用問題ですが、そこが本校の課題のようです。今後、結果分析をし課題の解決に向けて取り組んでいきます。また、学習の意識調査については、次号でお知らせする予定です。

★6年生には、本日個人票を配布しています。

国語A (知識)	全国比+11.3	熊本県比+11
国語B (活用)	+ 5.3	+4.0
算数A (知識)	+ 3.5	+3.0
算数B (活用)	- 4.5	-4.0
理 科	+ 0.7	-1.0

体験を通して学ぶ ～着衣水泳体験～

プールシーズンも最終日となった9月10日(月)、YMCAインストラクターの兼瀬さんを講師として来ていただき、水の事故防止と水難時の対応について、4・5・6年生を対象に指導していただきました。

最初に、水の事故防止について話を頂いた後、着衣のまま泳いだり、ペットボトルやランドセルを利用した救助の仕方や水の中での浮き方を教えていただきました。そして、その後、水の中に急に落ちた場合の体の浮かせ方について体験しました。

子どもたちは、着衣の水泳はほとんどが初めてのようで、「泳ぎにくい」「前に進まない」などの感想を言っていました。また、手足を広げて水に浮くのもなかなか難しそうでした。

しかし、このような経験を繰り返し行う事で、水の事故防止への関心も高まるのではと思いました。



(お礼)

今年のプールシーズンも終わりました。夏休みの監視当番(2日間)は、大変お世話になりました。

認知症について学びました



5年生が、介護福祉士の小山さん(他3名)に来ていただき、認知症について学習をしました。子どもたちは、「認知症」という言葉は知っていても、

実際どのような状態なのか、また、周りの人がどのように対応したらよいかは、わかっていないようでした。しかし、学習後の感想を見ると、認知症に対する理解が少しは深まったように思います。学んだことを、今後の生活場面で活かしてほしいと思いました。

【児童の感想】

- ◆ 認知症になった人のまわりの人もつらいけど、なった人が一番つらいんじゃないかと思いました。
- ◆ わすれてしまうこともあるけど、わすれないこともあるということがわかりました。
- ◆ 近所の人がもし認知症になったら、ぜひサポートなどをしたいです。
- ◆ (自分ができることは) その人の気もちになってよりそうこと。話を聞いてあげること。



算数コーナー(3年生の研究授業から)

問題：16000という数を表す時、どんな表し方があるでしょう？三つ以上考えてみましょう！

(ヒント)

- 7000は、1000が7つ集まった数
- 10000-3000=7000 など